



# ふれあい

平成30年9月 NO5  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

## 夏休み中の「門川町一斉ラジオ体操」・教育研究所の研究者研修について



2学期が始まり、学校では教室や運動場に子どもたちの元気な声に戻ってきました。夏休み中、町内では子どもたちの大きな事故や怪我がなかったようで、一安心です。保護者の皆様も「ようやく学校が始まった!」と、ホッとしておられることでしょう。学校では、運動会や体育大会の練習が始まったようです。体調管理にも十分気をつけていただき、しっかりと見守っていきましょう。

今月号では、夏休み中の出来事について幾つかご報告したいと思います。

## 大成功! 7/26の「NHK夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」



近隣市町村のゆるキャラ集合!

何やら、相談中!...



今年の「門川町一斉ラジオ体操」は、数年前から申請を続けてようやく実現した「NHK夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」として実施されました。今回は「心の杜ふれあい広場」をメイン会場に「門川小・西門川小・五十鈴小」の各運動場を分散会場に一斉に行われました。昨年同様、好天に恵まれ多くの町民の皆さんに参加していただきました。今年は4つの会場で合計約1900人の参加があったようです。昨年より200人ほど増えており、実に町民の10%以上が参加したことになります。大成功です。息の長い取組にして、「ラジオ体操の町」といわれるようになるといいですね。



前に並んで体操をリードする門川中学校の生徒の皆さんです。

**門川中学校の生徒の皆さんありがとうございました!**



待機中

参加して頂いた町民の皆様にも感謝申し上げます!



門川中学校の生徒会では、今回のラジオ体操に合わせて、「エコキャップ回収」運動に取り組みました。事前の呼びかけにたくさんの協力があり、写真のようにいっぱい集まりました。ご協力に感謝します。

## 門川町教育研究所研究員の夏期研修を8/7に実施！

タブレット端末の基本操作の学習中！



タブレット PC 活用研修です



会場は宮崎県教育研修センターです。研究員6名、指導主事、指導員の計8名でタブレットPCの基礎を学習しました。

学習課題に取り組む研究員



研修の最後に、指導して頂いた講師の方々にお礼の挨拶をして帰途につきました。

研修の最後はこの日学習した内容を使って、発表課題に取り組みました。課題は「金星は地球からどのように見えるか」(形・大きさ・いつ・どのように)でした。2班に分かれた研究員はタブレットPCの発表ツールを活用して模型の写真や動画を入力していきました。ここで学んだ内容が「ICTを効果的に活用した主体的・対話的で深く学ぶ」学習活動のヒントになることを期待したいと思います。

本の一節！  
心に残った

### 「抱っこの宿題」、忘れんぼ！……………(その2)

\*前号の続きです！

抱っこは身体的に密着した状態である。当然赤ん坊はその密着状態が心地良いわけで、少しでも親から離れると泣き叫んだりする。

3歳ぐらいから本格的な親子分離が始まる。同時に子どもの心に芽生えるのが複雑な二面性だ。すなわち、「抱っこされたい。でも拘束されたくない」「自由に遊びたい。でも親から離れたくない」「親がうざりたい。でも親にしがみつきたい」

幼児はこの心の葛藤を繰り返しながら少しずつ親から離れ、そして親が近くにいなくてもそれに耐えられる力を獲得していく。この力を獲得するために欠かせない条件が、それ以前にどれだけ抱っこされてきたか、である。

乳幼児期にたっぷりと愛情を注がれてきた記憶があると、帰りたいたいときにいつでも親(あるいは親の代りになる人)のところに戻れるという安心感が、心の真ん中に出来上がる。そういう子は、それ以降、自立に向かって「人生のコマ」を次の発達段階に進めることができるのである。

幼少期にやり忘れた「抱っこの宿題」は、思春期に歪んで出てくる。～中略～……………

「抱っこの宿題」は子どもにでなく、親に課せられた「宿題」だったのだ。

〔出典:ごま書房新社発行「日本一心を揺るがす新聞の社説」 著者:水谷もりひと より〕



## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室)  
Tel・Fax 63-1566

～～～返信欄(教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。)～～～

